

入院診療計画書(診査腹腔鏡を受ける患者様へ)  
様

ID番号 氏名 症状 病棟  
病名(他に考える病名) 担当医師 印 担当看護師 担当薬剤師

月日 術前日 ( / ) 手術日( / ) 手術翌日 ( / ) 術後2日目 退院

経過 検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。 ( )時に手術室へ移動します。 術後は病室に帰ります。 水分の摂取が開始になります。内服が開始になります。食事が開始になります。4人部屋へ移動します。 安全に日常生活の範囲を拡大していきましょう

目標 手術の必要性を理解できる 手術室へ行くまでの流れ 痛みは我慢せずに、スタッフに知らせるようにしましょう。 スタッフと一緒に、少しでもリハビリを行いましょう。 ベッドサイドに立てるようにしましょう。 退院後の生活について疑問点がある場合は、看護師に相談しましょう。

検査 前あきの下着、病院のジャマに着替えてください 弾性ストッキングをはいてください(看護師が用意します) 義歯、めがね、時計、指輪などを外して下さい。 貴重品は、ご家族の方へお渡しください。 女性の方は、化粧やマニキュアを落して下さい。 髪の毛の長い方は2つに結び、ヘアピンを外して下さい。 午後後に手術を受ける方は、午前中に病棟で点滴をします。 採血・レントゲン 必要に応じて採血・レントゲン

手術前日の流れ

- おへその掃除をします
- 入浴(シャワー)
- 肩に名前を書きます(医師)

入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください

点滴 酸素吸入 心電図モニター 尿の袋

初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。

尿の管が抜けます

酸素と心電図モニターが終了になります

立ちましょ。 どんどん歩きましょう。

以下の症状があるときは受診日以外でも来院してください。

- 腹痛がひどい時。
- 排便や排ガスがなく、お腹の張りが続いている時。
- 嘔吐が続き、吐き気がひどい時。
- 黒い便が出た時。
- 高熱が出たり微熱が何日も続く時。

不安なこと、分からないことがありましたら、医師や看護師にご相談ください。

外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。

注射 ありません

内服 飲んでいるお薬は、全て看護師にお知らせください。病棟薬剤師もお薬を確認します。

水分は、1日1000mlを目安に補給してください。

朝6時まで水・茶・スポーツ飲料などの水水分は摂取可能です。コーヒー・牛乳・野菜ジュースなどは飲まないで下さい。

薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。緩下剤の内服については、便の回数や性状を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談して下さい。

水分を摂取する場合は、むせりや吐き気がないのを確認しながら飲んで下さい

職場復帰、旅行などは医師に相談して下さい

食事

活動、入浴に制限はありません。

病棟を離れるときは、看護師にお知らせ下さい。

足の底背屈運動を行って下さい。血栓予防になります

食事を摂取しない間も、口中は清潔にしましょう

シャワー浴ができるまで、体拭きをお手伝いします。

シャワーの時は、創の部分をごすらずに、シャワーで流すようにしましょう。

入浴のときは... 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。

清潔行動

病棟での日常生活を説明します 手術の予定や経過について説明します

麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります

次回予約票が渡されます。 リフトを外します。 栄養指導があります

説明

受け胃られる手術へ

たばこは、胃液の分泌を抑え胃粘膜を刺激しますので、禁煙を続けましょう。

コーヒー・紅茶を摂取したい場合は、空腹時は避け、食後に薄めのものを少量とるようにしましょう。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。  
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名: 続柄:

特別な栄養管理の必要性  
有 ・ 無